

3Rで生ごみ減量しましょう!



【問合わせ】クリーンセンター ☎23-3567



ポイント1

リデュース

Reduce (ごみを減らす)

最初から食べる分だけつくるようにしましょう。また、食べる側の人に残さず食べるようにすれば、残飯として捨てることがなくなります。

出た生ごみも、80%は水分。捨てる前にギュッとひと絞りして水切りすれば、水気のみだけ減量になります。水切りは、悪臭や腐敗を抑える働きもあります。



ポイント2

リユース

Reuse (繰り返し使う)

お出かけの時も、割りばしや紙コップなどの使い捨て食器を控え、マイ箸、マイボトルを活用しましょう。これらは生ごみではありませんが、燃やせるごみの減量につながります。



ポイント3

リサイクル

Recycle (再生して利用する)

料理をするときなど、生ごみはどうしても出てしまうもの。でも、生ごみの堆肥化容器等を活用すれば、立派な堆肥として生まれ変わります。

市では、生ごみの堆肥化容器等の購入費用を補助しています。ぜひご活用ください。詳しくはクリーンセンターへお問い合わせください。なお、生ごみ処理機を実際に数年使用された方に対してアンケートを実施しました。市ホームページに掲載していますので、購入検討の際の参考としてください。

家庭の燃やせるごみの30%を占める生ごみ。資源の分別と合わせて、ごみの減量にはこの生ごみの減量が欠かせません。生ごみの減量のためのポイントを3Rに合わせてご紹介します。※資源は、分別しないで燃やせるごみや燃やせないごみに混ぜこんでしまうと、資源として活用できません。排出する際は、資源の分別にご協力ください。

家の中で手軽に!!



▲生ごみ処理機

軒下などで発酵を!!



▲EM容器

畑で気長に堆肥化



▲生ごみ堆肥化容器



この「QRコード」から、市ホームページへアクセスできます。